

避難所での新型コロナウイルス感染症などへの 感染予防対策

市は、避難所を開設した場合、新型コロナウイルス感染症などの感染予防のため可能な限りの対策を講じます。しかしながら、感染予防には、避難された一人一人が自分を守ることが重要です。

次のことに注意して、これまで以上のご協力をお願いします。

- 1 流水での手洗い、アルコールを含んだ消毒剤で手指を消毒しましょう



- 2 マスクの着用と咳エチケットを徹底しましょう



- 3 避難する時は、水や食料、薬の他、マスク、体温計、せっけんや消毒剤などの衛生用品を持参しましょう。



- 4 過密状態を防ぐため、可能な場合、親戚や友人の家など避難所以外の避難先を検討しましょう



日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル（津波浸水）について

内閣府は、日本海溝・千島海溝、それぞれの巨大地震モデルの検討結果について、津波高や浸水域などの概要を公表しました。

釜石への影響は「日本海溝（三陸・日高沖）モデル」での地震・津波が発生した場合、地震規模は、マグニチュード9.1、震度6弱で、津波も発生すると想定されています。想定される津波高は、現市役所用地で約6.6メートル、尾崎半島の南側末端部で約18.5メートルなどと公表されました。

発生確率は、千島海溝モデルは7～40%で、日本海溝モデルも同様に切迫性が高いとされています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民の皆さんへ直接説明することは難しい状況にありますが、今後、詳細な浸水想定などが公表された際には、改めてお知らせします。

国内では、大きな地震・津波の発生が切迫しています。市民一人一人が「避難」について改めて考えるきっかけにしていただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。

日本海溝（三陸・日高沖）モデル

